

モデルコース④「富士登山の多様化」

ご利益登山いにしへの修験道登山(大宮・村山口コース) 1/2



富士山本宮浅間大社
楼門・鉾立石



富士山本宮浅間大社



村山浅間神社



富士山より 朝焼け

<p>コース特徴</p>	<p>富士登山の際、富士山本宮浅間大社等の神社を参拝せずに、五合目から頂上を目指す方も多いですが、あらためて古来より伝わる登拝になぞらえ、五合目からの登山前に、富士山本宮浅間大社及び村山浅間神社を参拝する(※)ことで、富士山の「神聖さ」を「信仰の対象」の形として経験するコース。</p> <p>※村山浅間神社から旧登山道(未特定)は歩いて登ることはできませんので御注意ください。古来になぞらえ村山浅間神社を参拝後は、車等により一般道を利用した移動が想定されます。</p>
<p>行程表の表示 主に徒歩による移動を想定 === 車等による移動を想定</p>	<p>【1日目】 各地 == 富士山本宮浅間大社(参拝・御祈祷) == 村山浅間神社(大日堂参拝) == (※開館日に注意) === 富士宮口五合目(大宮・村山口登山道) 山小屋(泊)</p> <hr/> <p>【2日目】 山小屋(早朝) 富士山頂(ご来光) 浅間大社奥宮..... お鉢めぐり(剣ヶ峰・久須志神社等「八葉九尊」のご利益めぐり) 富士宮口五合目 === 各地</p>
<p>ポイントワード「富士登山の多様化」</p>	<p>近代化によって、富士山周辺地域では鉄道網や自動車道が整備され、五合目から登山する方法が進んだことで、観光など富士登山に対する動機が多様化しました。しかし、現在も多くの登山者が山頂などで「御来光」を拝み、「お鉢めぐり」を行うなど、富士山への信仰心は今に受け継がれています。</p>

モデルコース④「富士登山の多様化」
 ご利益登山いにしへの修験道登山(大宮・村山口コース) 2/2

移動手段	マイカー／公共交通機関 ※登山については、マイカー規制があることに注意してください。富士宮口は、平成29年7月10日(月)9:00～9月10日(日)18:00(マイカー規制対象車は、「水ヶ塚駐車場」に駐車しバスにて移動)
------	---

関連施設所在地

施設名	所在地	アクセス等
富士山本宮浅間大社	静岡県富士宮市宮町1-1	新東名高速道路・新富士ICから約15分、JR富士宮駅から車で約3分または、駅から徒歩で約10分
村山浅間神社	静岡県富士宮市村山1151	新東名高速道路・新富士ICから約20分 JR富士宮駅から車で約20分 [神社案内所開設日] 土日祝日 10:00～15:00
水ヶ塚駐車場	静岡県裾野市須山字浅木塚	マイカー規制期間中 規制対象車は、水ヶ塚駐車場へ駐車後(1台1,000円)、シャトルバス(駐車場代とは別途有料)・シャトルタクシー(駐車場代とは別途有料)にて富士宮口5合目まで移動

※最新の施設情報・費用等、事前に十分確認いただいたうえ、御自身の責任で訪問されるようお願いいたします。

※移動方法は例示となります。また、移動時間等も実際の交通状況等により変動しますので御注意ください。



富士山本宮浅間大社
湧玉池

本コースにおける世界遺産構成資産

- ・**富士山本宮浅間大社(構成資産2)** 全国の浅間神社の総本社。噴火を鎮めるために浅間大神を祀ったことを起源とし、(社伝によると)806年に現在の地に社殿を移しました。
- ・**大宮・村山口登山道(現在の富士宮口登山道、構成資産1-2)**、**村山浅間神社(構成資産4)** 末代上人が修験道の拠点とした浅間神社。富士山本宮浅間大社を起点とし、村山浅間神社を経て山頂に向かう登山道は、多くの修験者に利用されました。